

2018年5月31日

株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 1番5号 PMO 日本橋江戸通  
 TEL. 03-3664-5811 FAX. 03-3661-0165  
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>

広報課 TEL. 03-3664-5697  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>

## 環境対策からUVへのシフトが進み、市場は堅調に拡大 感光性材料、原材料、照射装置、UV光源の世界市場を調査

— 2022年市場予測（2017年比） —

- UV硬化型インクジェットインキ（UV I Jインキ） 13.0億ドル（36.8%増）  
 ～多品種小ロット対応可能などの強みを生かして世界各地で成長が続く～
- 感光性材料の世界市場 150.6億ドル（16.7%増）  
 ～インキ、電材を中心に市場は堅調に拡大～

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、電機製品から自動車、建築、日用品に至るまで幅広く用いられており、近年ますます需要が増加している感光性材料およびその原材料、照射装置、UV光源の世界市場を調査した。その結果を「**2018 光機能材料・製品市場の全貌**」にまとめた。この調査では感光性材料22品目、原材料11品目、UV光源・照射装置4品目の市場を調査・分析し、それぞれを国・地域別、用途別など多角的に捉え、将来を展望した。

### <注目市場>

#### ■UV関連材料・製品市場

##### ・UV硬化型インクジェットインキ（UV I Jインキ）

2017年	2022年予測	2017年比
9.5億ドル	13.0億ドル	136.8%

UVインクジェットプリンターに用いられるUVインキを対象とする。インクジェットはデジタル非接触印刷という特徴から小部数対応が可能で、UVインキは紙以外の非浸透性基材への印刷に適しており、速乾性に優れているため、産業印刷分野で採用が広がっている。2018年は中国、インド、東南アジアを中心に市場規模が拡大するとみられる。新興国では経済成長に伴いサイン・ディスプレイの需要が増加しており、今後もUVインクジェットプリンターの導入が進み、市場が拡大するとみられる。また多品種小ロット対応可能などの強みを生かして新興国だけでなく、欧米でも成長が続くとみられる。

##### ・UV硬化型インキ（UVインキ）

2017年	2022年予測	2017年比
33.2億ドル	37.2億ドル	112.0%

UVインキは溶剤インキと比較して環境負荷の低減や生産性の向上につながるため、様々な用途で普及している。2018年は印刷インキ全体の需要は横ばいまたは微減となるものの、UVインキの需要は増加するとみられ、地域を問わず採用が広がっている。欧米の印刷市場は成熟しているが、高付加価値品のニーズは高まっており今後も高感度UVインキを中心に伸長するとみられる。インド、東南アジアなどの新興国でもパッケージ、シール・ラベル向けの需要を中心に長期的な成長が期待できる。

##### ・UV光源

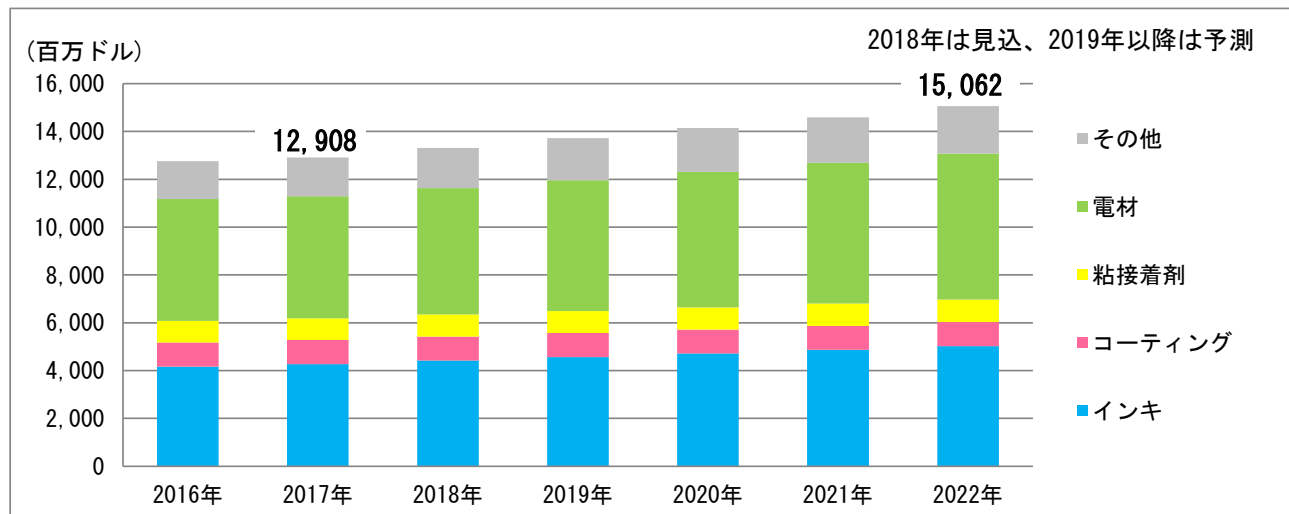
2017年	2022年予測	2017年比
6.0億ドル	6.3億ドル	105.0%

UV硬化型樹脂に紫外線を照射し、硬化や乾燥、接着を行う際に用いられるUV光源を対象とする。2017年は市場の6割以上がUVランプとなっているが、UVランプから省エネ、省スペース性に優れているUV-LEDへのシフトが世界全域で進んでいる。UV-LEDは出力が低いため、生産性が重視される用途ではシフトが進んでいないが、ハイパワーLEDなどUV-LEDの高性能化に伴い幅広い用途で今後採用が広がるとみられる。U

V-LEDは普及に伴い、価格の下落が進んでいるが、新規設備の導入や既存設備の更新によりUV光源の需要が増加するため、市場は緩やかに拡大するとみられる。

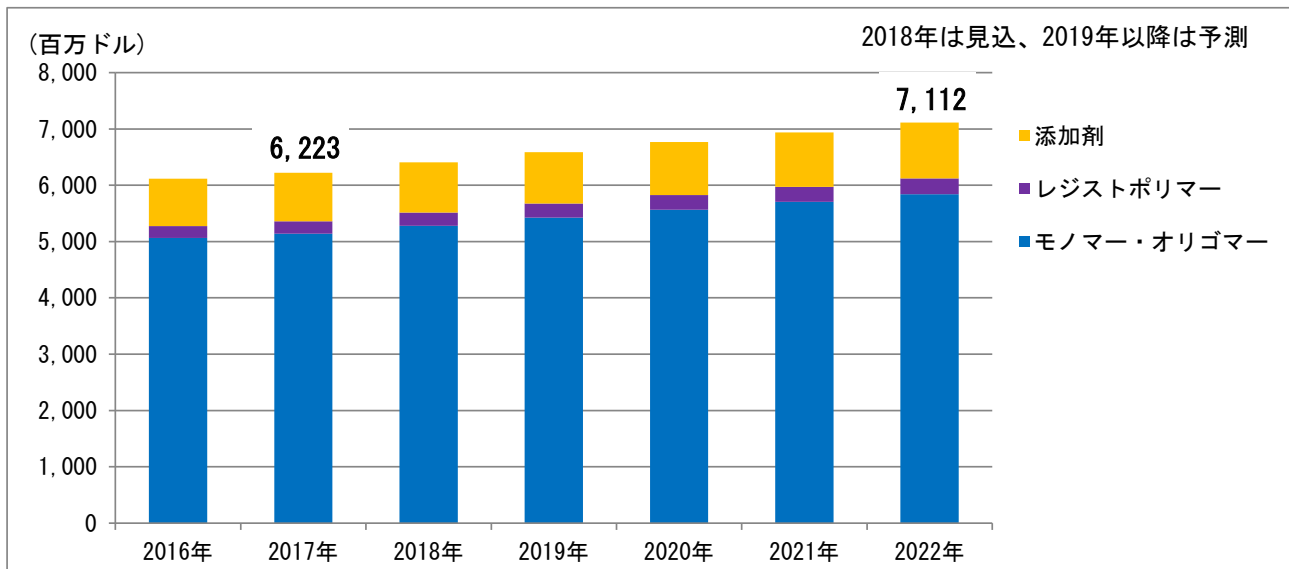
<調査結果の概要>

■感光性材料の世界市場※



※UV硬化型塗料・コーティング材（化粧品容器用、建材用・床用）、ライニングシートを除いた市場生産性の向上や環境対策への対応からインキ、電材を中心に市場は堅調に拡大している。インキはUVインキ、UV I Jインキ共に需要が増加している。電材では、フラットパネルディスプレイの成長が鈍化していることから連動して関連材料も微増で推移するが、IoT化や車載電装化が進んでいるため半導体の需要は増加している。特に半導体フォトレジストが好調である。

■原材料の世界市場



原材料は感光性材料の需要と連動して推移する。市場の大部分を占めるモノマー・オリゴマーはインキ向けを中心に堅調に拡大するとみられる。特にアクリレートモノマーは欧米においてUVインキおよびUV I Jインキ向けで伸長している。添加剤では光源のUV-LED化に伴い、光重合開始剤がUVインキ、UV I Jインキのほかコーティング用途で需要が増加している。今後はレジスト用途での需要が増加するとみられる。

<調査対象>

感光性材料	
1. UV硬化型インキ	12. バッファコート／再配線形成材料
2. UV硬化型インクジェットインキ	13. TFT形成レジスト
3. フィルム用ハードコーティング材	14. カラーレジスト
4. 光ファイバ用コーティング材	15. ブラックレジスト
5. UV硬化型塗料・コーティング材	16. フォトスペーサ／ブラックカラム
6. UV硬化型接着剤	17. ドライフィルムレジスト
7. タッチパネル用OCA	18. ソルダーレジスト
8. タッチパネル用OCR	19. カバーレイフィルム
9. バックグラインドテープ	20. 感光性印刷版
10. ダイシングテープ	21. 3Dプリント樹脂
11. 半導体フォトレジスト	22. ライニングシート
原材料	
1. アクリレートモノマー	6. 水系UV樹脂
2. メタクリレートモノマー	7. 脂環式エポキシ
3. ウレタンアクリレート	8. レジストポリマー
4. エポキシアクリレート	9. 光重合開始剤
5. ポリエステルアクリレート	10. 光酸発生剤
	11. 光塩基発生剤
UV光源・照射装置	
1. UV光源	3. UVオフセット印刷機
2. 半導体露光装置	4. UVインクジェットプリンター

<調査方法> 富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間> 2018年2月～4月

以上

資料タイトル：「2018 光機能材料・製品市場の全貌」	
体	裁：A4判 280頁
価	格：書籍版 120,000円＋税
	PDF＋データ版 130,000円＋税
	書籍／PDF＋データ版セット 150,000円＋税
	ネットワークパッケージ版 240,000円＋税
発行所	株式会社 富士経済
	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町1番5号 PMO日本橋江戸通
	TEL：03-3664-5811（代） FAX：03-3661-0165
	URL： <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a> e-mail： <a href="mailto:info@fuji-keizai.co.jp">info@fuji-keizai.co.jp</a>
調査・編集	東京マーケティング本部 第五部
	TEL：03-3664-5821 FAX：03-3661-9514
この情報はホームページでもご覧いただけます。 URL： <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a>	